

国語科 小学校 2年

単元名 はっぴょうしょう
「あったらいいな、こんなもの」

本時の流れ（第4時）

本時の目標

- 発表例を聞いて、話す順序や話し方について気が付いたことを話し合う。

学習の振り返りと本時の見通しをもつ

- ・本時の目標と、課題を確かめる。
- ・相手に分かるように話すには、どのようなことに気を付けたらいいか、これまでの学習を振り返って話し合う。

【本時のめあて】

- ・はなすじゅんじょや、はなしかたをかんがえよう。

話すことについて、これまでに学習したことを思い起こさせることで、発表例を聞くことへの関心と意欲が持てるようにする。

話す順序（組み立て）について考える …教師の発表例（示範）から学ぶ

- ・先生の発表例を聞く。（教科書を見ないで）
- ・どのような話だったか、分かったことを話す。
- ・再度、発表例を聞き、どのようなことを、どのような順序で話したか、整理する。
- ・もう一度先生の話聞く。…教科書を見て、話している内容を指で押さえながら聞く。

話し方の模範例（モデル）を教師が“して見せる”

低学年では、内容の大体を聞き取れることをまず大事にしたい。その上で、具体的な内容（「とんぼの羽の形」「かるい」などを、項目（「形や大きさ」）ごとにおおまかに板書で整理する。

話し方について考える

- ・先生の発表例（話）を聞いて、話し方で気が付いたことを話し合う。
- ・相手に分かるように話すためには、どのような話し方をすればいいか、ノートに書き、グループで話し合う。

教科書の組み立てメモと照らし合わせながら聞くことで、メモを自分で書いたり、実際に活用したりできるようにする。

学習をまとめる

- ・本時の学習を振り返って、できるようになったことなどをノートに書いて、交流する。

【身に付けさせたい「話す力・聞く力」】

- 相手に応じて、話す事柄を順序立てて話す。
- 姿勢や口形、声の大きさや速さなどに注意して、はっきりした発音で話す。
- 大事なこと（物の特徴、はたらきなど）を落とさないように聞く。

「活用」の力を育てる評価の視点

- ・発表例と対応した組み立てメモの内容を、押さえている。

〈発表例を聞いている時の観察〉
〈ノートの記述〉

- ・次の時間には、自分で発表メモを書くことを伝え、見通しと意欲が持てるようにする。

[授業展開例へ](#)

[評価問題](#)

[単元の流れへ](#)

[HOME](#)